

<再評価>

事業名 (箇所名)	総合流域防災事業(宍喰川)	担当課	河川整備課	事業主体	徳島県					
		担当課長名	赤堀 良信							
実施箇所	徳島県海部郡海陽町日比原									
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業									
事業諸元	堤防整備(築堤、護岸、根固め工、堰撤去等)									
事業期間	昭和37年度～平成35年度(西暦1962年度～2023年度)									
総事業費(億円)	36.0億円	残事業費(億円)	8.5億円							
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績 ①被災頻度:H2 台風21号(浸水家屋数49棟,浸水面積62ha),H10 5月豪雨(床下59棟,床上9棟,農地67.9ha),H14 5月豪雨(床下4棟,馳場堰上流で堰上げによる溢水),H18 4月豪雨(床下48棟)H22.4月豪雨(床下1棟,床上3棟),H26.台風12号(床下160棟,床上51棟.) ②最大浸水戸数 :68戸 [H10(5月豪雨)] ③最大農地浸水面積:67.9ha [H10(5月豪雨)]</p> <p>・当該地区は、年平均降水量が3,000mmを超える多雨地域であり、台風や前線に伴う豪雨や局地的な大雨による水害の被害を受けている。 ・平成10年5月豪雨では、床下50棟、床上9棟などの浸水被害を被っており、河川改修を計画的に進め、流下能力の向上を図る必要がある。</p> <p><達成すべき目標> ・河川整備計画目標規模(年超過確率1/30)の洪水を安全に流下させる。</p>									
便益の主な根拠	浸水軽減戸数:657戸 浸水軽減面積:156.8ha									
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益(億円)	2,746.7	C:総費用(億円)	163.5	B/C	16.8	B-C	2,583	EIRR (%)	9.2
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	12.0	C:総費用(億円)	6.5	B/C	1.8				
感度分析	残事業(B/C)		全体事業(B/C)							
	残事業費(+10%～-10%)	1.6	～	2.0	16.7	～	16.9			
	残工期(+10%～-10%)	1.8	～	1.8	16.9	～	16.7			
	資産(+10%～-10%)	2.0	～	1.6	18.5	～	15.1			
事業の効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋の657戸が解消され、氾濫面積約156haが軽減される。 ・また事業実施前には災害時要援護者が756人、最大孤立者数が1,129人、電力停止による影響人口が921人と想定されるが、事業実施によりこれらが解消される。 ・想定される最大クラスの降雨による浸水想定を作成中であり、公表することで住民の水害リスク意識向上を図る。</p>									
社会経済情勢等の変化	<p>地域開発の状況: DMVの開発が進んでいる。 地域の協力体制: 事業促進要望が強く、地域の協力体制は良好である。 地域の事業に対する社会的評価: 河口部で地震・津波対策事業も進んでいることで、地元からの期待も高まっている。</p>									
事業の進捗状況	・昭和37年度より事業に着手し、平成29年度末で進捗率は76%(事業費ベース)である。									
事業の進捗の見込み	・用地は完了しており、今後の事業進捗に大きな支障はない。									
コスト縮減や代替案立案等の可能性	各事業の設計段階では比較検討を行い、施工段階では掘削土等の有効活用をすることでコスト縮減を図る。									
対応方針(案)	継続									
対応方針理由(案)	近年でもH26台風12号11号による浸水被害被害を受けており、これからも河川改修を行い、被害軽減に努める必要がある。									
その他										